

## 第2回 保育実習に係る保育士養成校と保育所等との意見交換会 概要

開催日時：令和8年2月17日（火）

開催場所：神奈川県庁本庁舎3階 大会議場

参加者：保育士養成校 9名、保育実習受入施設 49名

テーマ：①実習生への指導方法について ②子どもと実習生との関わりについて

### 意見交換会内容紹介

テーマ1：実習生への指導方法について

#### <グループA>

- ・実習生にとって何が良いのかと考えていく中で、各園の先生方がどこまで伝えていけばよいのか悩んだり迷ったりしているということがあった。何も言わずに成績だけをつけてしまうと学生たちもショックを受けマイナスイメージを持ってしまうこともあるので、伝えられることはしっかりと伝えてほしい。

#### <グループB>

- ・1回目の実習と2回目の実習で学生に求める内容を変え、担任以外の担当職員をつけてフォローするなど、実習に対するハードルを下げる工夫をしている。また、養成校では実習期間中に24時間体制でいつでも電話に出られるようにしているなど学生のフォローに努めているので、養成校と保育園で両輪になって、これからの未来の先生たちを育てていきたい。

#### <グループC>

- ・保育園側の担当の先生が複数いるとコミュニケーションを取るのが難しいと感じる実習生もいる。その中で、午睡中に日誌を書ける場所を確保することや、振り返りの時間をしっかり作ってあげることが大事になってくると思う。

#### <グループD>

- ・学生は怒られ慣れていないので、まずは褒めてあげられると良いという話も聞いた。学生さんがより良い教育者となっていけるように、楽しく実習に取り組めるよう各園で工夫している。

#### <グループE>

- ・実習生を孤立させない雰囲気づくりをしている。職員同士の雰囲気など、園全体で安心できるような環境づくりをしている。一方で、全職員が同じスタンスで実習生を受け入れられていないという園もあった。
- ・実習の振り返りの際に、実習生が保育士になった時の力になるようなアドバイスができれば、そこに参加した若手職員の人材育成にもつながっているのではないだろうか。

#### <グループF>

- ・実習担当はベテラン職員がよいのか2～3年目の若手職員がよいのかという議論になったが、このグループでは3～4年目の職員だと実習生も一緒になって学ぶことができよいのではないかという意見であった。そのような職員の配置を試みてみたい。

#### <グループG>

- ・保育士を目指しているけど人見知りの学生もいる。その方の得意なところや好きなところ、力を発揮できることを聞いてあげて、それができる環境を作ってあげることが大事だと思う。何を持って、子どもの前に自信を持って立てるか、それを一緒に探してあげたい。それが将来的に仕事での自己発揮に繋がっていくと考える。

- ・A I やI C T化などとも上手に付き合いながら私たち自身も成長し、養成校との関係を築きながら、いい学生さんを育てていきたいという思いで、みんなでアタックしていくことが大事だと思う。

## テーマ2：子どもと実習生との関わりについて

### <グループH>

- ・失敗することを怖がっている学生が多いように感じる。失敗をどうリカバリーすればよいのか学んでいるところである。学生が失敗を恐れないためには、幼児期の時からたくさん失敗できる経験をさせてあげたい。

### <グループI>

- ・緊張している学生や思いがあっても動けない学生など、学生によって子どもとの関わり方は様々である。子どもから学生に近寄っていき、コミュニケーションをとる場面も見られる。

### <グループJ>

- ・手遊びや読み聞かせなど、人前で何かをやるという経験をさせることを心がけている。実習生が子どもとうまく関われない場合は、実習担当とクラス担任が間に入り、実習生が面白い・うれしいなどの経験ができるようにしている。

## 感想

- ・実習生の確保から苦勞されている保育園さんが複数いらっしゃるのことがわかりました。少子化の上に保育者志望の学生も減っているとなると、養成校も施設も協力して保育の魅力を伝える必要があると感じました。また、お互いが必要としているが故の遠慮が発生しており、改善点などの意見を伝えにくいこともあるので、その部分の風通しは課題かと思いました。
- ・養成校の先生から実習生の現状や気持ちを伺い、他の園の先生方が感じている事など共有できて貴重な時間になり、勉強になりました。ありがとうございました。
- ・現役の学生さんがどんな保育園に就職したいか？その為現場の保育園は何をしたら良いか。自分達が学んだ時代から学生の育った時代や教育も変わり関わり方を変える時に来ているのではと思います。学生さんとの交流が大学側に出向いて実施できたら、学生さんからの本音も聞き出しやすいのかと思います。私達が変わらなくては学生さんも採用できないのだと思っています。
- ・他園での工夫や養成校の先生のお話を聞き、実習の中で対話の時間をとることの大切さや実習生の良いところをたくさん見つけて、具体的にどんなところが良かったか伝えていくことで、より意欲を高められ、実りのある実習につながっていくということを改めて感じました。園全体で温かく見守り、細やかな対話を行っていくことで、保育の大変さを感じつつも保育の楽しさややりがい等、プラスのイメージが持てるように働きかけていけたらと思います。
- ・「こうしていくと良いのでは」といった、今まで自分たちでは思い付かなかったような意見も聞くことができ、大変参考になりました。
- ・養成校の先生の話聞く機会が中々ないので大変勉強になりました。今の学生がどんな風に考えているのか知り、実習をよりよいものにしていきたいです。

